

東北労働金庫「ろうきん地域貢献ファンド」 2010年度
Cコース（備品購入助成） 助成事業報告書

2011年 4月 20日

<p>団体名（ふりがな）NPO 法人 せんだい杜の子ども劇場 （えぬびーおーほうじん せんだいもりのこどもげきじょう）</p>
<p>購入物品名 人形劇サークル「ちょこタイム」用黒子グッズ</p>
<p>助成金を使って購入した物品の活用状況について、記述してください。 （購入した物品の写真は必ず添付してください。）</p> <p>○物品検討会：2010年9月28日</p> <p>○注文：2010年10月 4日～ 随時 ※黒頭巾を発注したところ、製造中止となっており在庫も無いことが判明した。急遽、依頼できる業者や個人を探した結果、個人で子ども服等を仕立てている方が会員にいたることが分かった。その方に事情を説明し、生地選びから縫製までを依頼した。</p> <p>○納入：2010年10月 7日 ひざあて 10月12日 うでカバー 11月13日 Tシャツ 11月14日 舞台用生地購入 2011年 1月29日 Tシャツ・ひざあて 3月 1日 黒頭巾</p> <p>○試着会：2010年11月13日</p> <p>○リハーサル：2010年11月13日 2011年 2月19日 【黒頭巾については未納入に付き、団体所有の物を使用】</p> <p>○練習日：2010年 9月 3日、 10月 3日 9日 23日 11月13日 18日 2011年 1月29日 2月19日</p> <p>上演日及び会場： （但し、練習日同様に黒頭巾は未納入に付き、団体所有の物を使用。 そのため、残念ながら数名が黒頭巾を被らないで演技をした。）</p> <p>① 2010年11月14日 会場：エル・パーク仙台 市民活動スペース 男女共同参画推進フォーラム2010・交流ひろば</p> <p>② 2011年 2月20日 会場：泉区中央市民センター ふれあい学びねっと い・ず・み推進委員会主催「あそびの天国」</p> <p>③ 2011年 3月19日 杜の子まつり 《東日本大震災のため中止》</p>

今回の物品購入によって、団体の活動や地域社会にどのような成果・効果がありましたか

ユニフォームとして購入したTシャツは、注文の段階からメンバー全員で見本を見比べたりロゴの意見を出し合ったりして期待感を共有し、ひざあて、黒腕カバー、黒頭巾、と物品が揃うごとに練習に熱が入り、注文から着用して演じるまでの経過の中でもサークルの一体感がとても強まりました。

上演本番では、メンバー全員が同じユニフォームを着て人形劇を演じることで、一致団結することができました。小学1年生から中学3年生までの異年齢の子ども達と大人スタッフが、「みんなで一緒がんばろう」という高まりをみせ、気持ちがひとつになったと実感しています。子ども達の晴れがましい姿に、表現することの楽しさを感じて自分の存在に自信をもった感情が表れていました。

また、周囲から見ても一目で「人形劇サークルちょこタイムのメンバー」とわかり、自然な形でサークルのPRをすることも出来ました。11月上演後、それまで参加を検討していた小学生から、仲間に入りたいと申し出があり、メンバーの増員にもつながりました。

今回購入した物品を活用して、今後、事業をどのように展開していきますか
また、その際に必要なものは何ですか

人形劇を通して自己肯定感を高めていく子ども達の成長を見てきましたので、今後もこの事業を継続し、よりたくさん子どもに自己表現の楽しさと大事さを伝えたいと思っています。子ども達が持つ力を伸ばすには、環境を整える必要があります。そのためには、人形劇の小道具を揃えたり、プロの人形劇の講座を受講するなど、様々な道具や学びがあると良いと思っています。また、搬入搬出の舞台や荷物の移動が、大きな負担になっていることから、運搬の手段を検討しています。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内訳
ろうきん地域貢献ファンド助成金	100,000	
自己資金	3,042	
合計	103,042	

支出の部

項目	金額（円）	内訳
ロゴ入りTシャツ	80,000	@2,000円×27枚=54,000 @2,000円×13枚=26,000
ひざあて	15,120	@840円×8組=6,720 @840円×10組=8,400
腕カバー	1,872	@156円×12組
黒頭巾	5,000	5枚（生地代、縫製代込）
舞台用生地	1,050	
合計	103,042	

<ろうきん>へのメッセージをどうぞ。

子どもたちにとって、「ちょこタイム」は、単なる人形劇サークルではなく、自己表現の場であり、心を豊かにする大切な『居場所』です。その場での様々な体験によって自己尊重感が培われています。この度、子どもたちの「スキルアップしたい」「そのための道具がほしい」という向上心が、今回の助成によって具現化できたことは、これまで以上の励みになると思います。本当にありがとうございました。